

# 看護大通信

〈 135 〉

日本は、超高齢化と少子化の時代で、世界に類を見ない速さで高齢化が進んでいます。車窓から見る風景は、きつと田や畑だっただろうなと思われ草木に覆われた野山が

県立看護大学 基礎看護学領域 看護管理学教授 岩永喜久子



「あのね」

れているきます。コミュニケーションは、育った時代が違っているおじいちゃんやおばあちゃんと、孫をしてひ孫と繋いでく、同時に人と人との関係性も自然に育み伝え、繋いでくれます。

おじいちゃんやおばあちゃんがまだまだ増えていきます。孫やひ孫はそれほど増えませんが、今あるいい関係をさらに発

## おじいちゃんとおばあちゃん。孫、ひ孫。

と前までは、孫やひ孫の周りにおじいちゃんやおばあちゃんがいて、うちの子だけでなく、近所の

持ちをわかつとすの顔に伝えています。特に、伝え、孫はまた、自分の孫やひ孫は子供に伝え、孫やひ孫は印象は相手に与える印象おじいちゃんやおばあちゃんに伝えて循環しま

子供もうちの孫やひ孫とコミュニケーションはの8割以上ともいわれて

言葉で伝えるだけでなく、表情やしぐさ、視線、わせられることや、ここ伝わります。いい関係に

時代でした。ところで、地域で暮らす声などでもしつかり相手